

様式 2

教 科
特別の教科 道徳

種 目
特別の教科 道徳

発行者
教育出版

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	・道徳の学び方が示されていて様々な見方や考え方ができるように設けられている。（思考力・判断力・表現力） ・生徒の発達段階や特性に応じた教材内容と配置がされている。（配列） ・各資料末の「学びの道しるべ」の問いは、人物の心情を考える問いや、生徒の判断を考えるものが多い。（自我関与） ・見通しをもって授業に取り組めるように、各教材の始めに問いかけがある。（問題解決） ・各学年で「やってみよう」「あなたならどうしますか」があり、役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動がある。（体験的）
2 主体的な態度の育成	・身近な資料内容を取り扱い、主体的に授業に取り組むことができるようなものから、登場人物に憧れをもてるようなものまで多面的・多角的に考え、感動をするような内容構成になっている。（問題意識） ・現代的な課題については、学年に応じて環境問題、持続可能な社会、生命倫理など取り上げている。 ・巻末に「どんな〇年生になりたいか」に、保護者が記入する欄がある。（家庭との連携）
3 上記の他、学習指導要領に示された内容や内容の取扱い、評価	・各資料末の「学びの道しるべ」の最後の問いの多くは、今後の生活につながるような投げかけがある。（関連） ・巻末に「道徳の学びを記録しよう」を設置し、学期ごとに振り返ることができる。（評価） ・巻末に「どんな〇年生になりたいか」を設置し、次年度への決意を書くことができる。（評価）
4 「地域社会人」の育成	・郷土の資料：1年4、2年2、3年2（補助を入れて） ・岐阜の資料：2年「怒りの救助活動」（神岡警察署） 2年「6千人の命のビザ」（杉原千畝） 各学年「都道府県ゆかりの人」（巻末） （1年織田信長、2年高橋尚子、3年池井戸潤）
5 印刷・造本	・文字の大きさや行間、字間は適切である。 ・行数が分かりやすいように配慮されてある。 ・レイアウトは見やすく、発問につながったり、生徒の発言につながったりするような挿絵になっている。 ・漫画などを取り扱い多様な形式の資料がある。 ・巻頭「〇〇の道徳が始まる」で各学年の内容の見通しや、3年間で学習する見通しをもてるようにしている。 ・コラムを少なくして学習内容を焦点化してある。
6 総 評	・内容項目相互の関連性や学年の発達を考慮した教材を配列してある。 ・現代的な問題、身近な出来事に関する教材では生徒が問題意識をもって主体的に考えるような内容や、登場人物に憧れを抱くような教材等、多様な教材が配列されている。 ・ふるさと岐阜や、地域への愛着をもつことができるような内容が配慮されている。